



2012・8・29

第162号

101-0065 東京都千代田区
西神田 2-5-7 神田中央ビル 303

TEL 03-3221-5075

FAX 03-3221-5076

よびかけ広げ「講演会」の成功を

三木さんの志受けについて

「九条の会」は8月27日、各分野の「会」と東京都内の市区町村の会によびかけて、9月29日の「講演会」成功させるための運営委員会を開きました。運営委員会ではこれまでの準備状況とともに、北海道から九州にいたる全国各地から参加申し込みがよせられていることが報告されました。また、プログラムの詩、歌、俳句の朗読をどのようにおこなうかなどについて活発な意見がよせられました。最後に、チラシを活用するなどして「講演会」を知らせ、参加者を広げていくことを確認しました。

なお、事務局からは、「講演会」には7月末に亡くなられた呼びかけ人の三木睦子さんを偲ぶ思いを盛り込むため三木家と話し合いをすすめていることが報告され、参加者も積極的に賛同しました。

[三木家との話し合いの結果、当日のタイトルに「三木睦子さんの志を受けついで」を加えるとともに、当日の参加者には、三木さんが九条の会学習会でおこなったスピーチを配布することとしました。]

三木睦子さんの志を受けついで 九条の会講演会

—今、民主主義が試される時

◇とき 9月29日 13:00(12:00開場)

◇ところ 千代田区・日比谷公会堂

◇講演 大江健三郎、奥平康弘、
澤地久枝

◇朗読 俳人、歌人、詩人の「九条の会」

◇参加費 前売 1000円 当日 1500円

◇参加申し込み方法

・受付期間 9月14日まで (ただし定員に達し次第締め切り)

・申込方法 郵便局備付の振替用紙(青色)に「参加希望枚数/名前/住所/電話番号」を記入の上、参加券代金(1人1000円)をお振込みください。入場券を郵送します。

[振替口座]

記号番号 00100-9-774293

加入者名 九条の会講演会

※振込後10日経過しても入場券が届かない場合はご連絡ください。

北陸3県が交流集会

福井、石川、富山3県の9条の会は8月26日、福井市で交流会を開き、90人が参加しました。

福井県の丸岡・9条の会の竹内謙二事務局長が開会あいさつし、「憲法審査会が始動し、自民党は天皇元首化などの改憲案を発表している。ねじをまきなおして運動を盛り上げましょう」とよびかけました。

9条の会事務局の高田健氏が「永田町で再稼働した改憲論と私たちの課題」と題して講演。「世間一般には改憲の動きは知られておらず、メディアの関心も弱い」なか、改憲の動きがさまざまな形をとって進行していることに警鐘をならしました。

参加者は3つの分散会にわかれて討論。「毎月中高校生向けに駅頭でチラシを配り9条を知らせている」(石川・加賀9条の会)、「6000所帯の地域で毎月3000所帯にニュースを届けている」(富山・水橋9条の会)、「新しいリーフも作製し、2ヶ月に1回の学習会を続けている」(福井・たけふ「9条の会」)などの経験が紹介されました。

敗戦の月に戦争体験を語り継ぐ

【滋賀県／滋賀・九条の会】 滋賀・九条の会は8月6日、大津市の三井寺観音堂で、戦争体験を語りつぐ会を開きました。1942年から小学校(当時は国民学校)の教師をしていた北島や糸子さん(89歳)が「卒寿の証言」と題して話をし、「天皇のために役に立って、死んで靖国神社に祀られましょう」と子どもたちに教えた教育勅語の恐ろしさを指摘しました。

【名古屋市／昭和九条の会】 15日、真宗大谷派別院境内の鐘楼で、戦争犠牲者を追悼する「平和の鐘つき」が行われ、近隣の住民多数が参加しました。

6年前から参加している昭和九条の会からは15人が参加。代表世話人の丹辺文彦氏(元愛知淑徳大学教授)が、「生まれた時から戦争につぐ戦争で軍国主義が徹底してたたき込まれ、当時は戦争に何の疑問も持ちませんでした。毎日ひもじい思いをさせられ、学ぶ機会を奪われた恨みは一生消えません」と語りました。

【青森県／青森県9条の会・青森市長村長9条の会】 15日、青森市内で「県平和集会」を開き200人が参加しました。

市町村長9条の会代表の木下千代治・元大畑町長が、戦争をする国にしようとする危険な動きを指摘し、「9条を守り、実現するためにがんばる」と決意を述べました。

集会では9条改憲につながるすべての企てに反対し「9条を守り抜く」とのアピールを採択、新町などをデモ行進しました。

オスプレイ反対で市に申し入れ

【福島県／相馬市九条の会】 相馬市九条の会はこのほど、米軍の垂直離着陸機MVオスプレイの飛行訓練ルートに福島県上空が含まれている問題で、日本政府や米軍に対しオスプレイの日本からの撤去を要求するよう立谷秀樹清相馬市長に申し入れました。

また、同市で19日に開く夏祭りに陸上自衛隊車両を展示する計画を撤回することを求めました。市側は、被災者や市民への配慮を欠いたとして「是正を検討する」と約束しました。